

備えは万全！消防団夏季点検

7月2日(土)、国分寺運動公園で消防団の夏季点検が実施されました。

この夏季点検は、いつ起こるか分からない火災や災害に対し、常に万全な態勢で対応ができるように行われるものです。今年度は節電のため、照明を半分減灯して開催されました。

当日は、市内全域から消防団員と24台の消防団車両が集まり、渡邊団長の指揮のもと服装点検・機械器具点検が行われました。



過日の東日本大震災のように、災害は人命や財産を一瞬で奪いかねない恐ろしいものです。その災害を最小限に防ぐための消防団ですが、市民の皆さんの協力が不可欠です。消防団の活動に対し皆さんのご理解とご協力をお願いします。

● 問い合わせ先

生活安全課

☎(40) 55555

本当に救急車が必要ですか？ 救急車の適正利用にご協力ください

〔6月6日は救急の日です〕

石橋消防組合消防本部の 平成22年中の救急出動

昨年の救急出動件数は3,622件となっており過去最高です。(1日あたり平均9.9件の割合で救急車が出動しています。)

救急車で搬送された人は、3,308人で搬送された患者のうち、軽症(入院を必要としない)患者が全体の4割以上を占めています。緊急性があり、本当に救急車を必要とする人の手当てが遅れ、救える命が救えなくなる恐れがあります。

限られた台数を最大限に活用するためにも皆様のご協力をお願いします。

程度別搬送人員

(平成22年中)

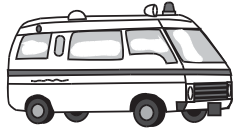
程度別	搬送人員(人)	割合(%)
軽症	1,361	41.1
中等症	1,435	43.3
重症	452	13.7
死亡	57	13.7
その他	3	0.08
計	3,308	100

Q: 救急車を呼んだのになぜ赤い消防車が来るの？

A: 当組合では「P A連携」というシステムを導入しています。

Pはポンプ車(Pump)、Aは救急車(Ambulance)の頭文字です。基本的に救急車の乗車人数は3名なのですが、それ以上の人数が必要な場合や、救急車よりも消防車が現場に近い場合、1秒でも早く患者のもとへ到着出来る仕組みです。

先に消防車が到着する場合がありますのでビックリするかも知れませんが、ご安心ください。また、通常は3名出動の救急隊ですが、隊員を1人増員して出動する4名出動体制も実施しています。



● 問い合わせ先

石橋地区消防組合消防本部
警防課 ☎(53) 6167

救急フェア開催

● 日時

9月4日(日)

午前9時30分～11時30分

● 場所

壬生町おもちゃ博物館(壬生町) 正面入口広場付近及び東側通路

● 内容

① 救急救命士による救急講習会(AED、あなたも使えます)

② 独協医科大学病院救命救急センターの医師及び看護師による健康相談コーナー・血圧測定コーナー・臓器移植コーナー(コーナー・ダイネーターによる説明)

④ 高規格救急車・救助工作車・はしご車・支援車の展示

⑤ 住宅防火対策展示コーナー

● 主催・問い合わせ先

石橋消防本部
警防課救急救助係
☎(53) 6167